

新庁舎通信

松江
MATSUE

令和3年5月7日発行

◆No.1◆

松江市新庁舎整備事業
の今をお届けします。



4月上旬



5月上旬

※ 現庁舎の庇（ひさし）の撤去工事終了後、一旦足場を解体し、この場所に矢板を設置していきます。

これから工事が本格化するのに併せて、この「新庁舎通信」にて工事の内容を逐次ご説明していきます。

4月には本庁本館2階・3階庇（ひさし）撤去作業、そして書庫の解体撤去作業を行いました。その際には多くの市民の皆様にご協力いただき、無事終了することができました。改めてお礼申し上げます。これから、矢板施工や杭工事など本格的に基礎を作るための工事に入って行く予定としています。

今回の新庁舎通信は、令和3年度の事業スケジュールについてお知らせします。

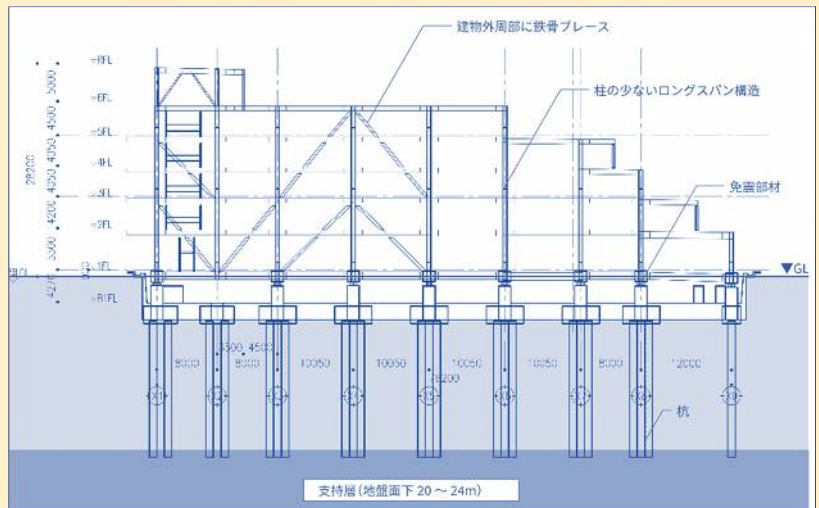
令和3年度の工事スケジュール



右の図は、新庁舎の断面で基礎と鉄骨を表しています。

新庁舎は、地面から20m～24m下に分布している支持層まで杭を埋め込み、基礎の一部として建物をしっかり支えます（杭工事）。

そして、杭工事後に、基礎工事のため地面を掘り下げます（掘削）。5月からは、掘削工事の際に、土砂が崩れるのを防ぐために、鉄製の板（矢板）を地面に設置する工事を行います（矢板施工）。



新庁舎整備事業についてお知りになりたいことなどございましたら、お気軽に新庁舎整備課へご連絡ください。また、ホームページも随時更新しています（「松江市 新庁舎」で検索）。



■ 令和3年2月中旬撮影（工事施工前）



■ 令和3年5月上旬撮影

